

●オンライン診療を実施した医療機関から薬局への情報提供（手順③）  
緊急避妊薬に関する情報提供書（医師→薬局薬剤師）

情報提供先

薬局

来局予定者氏名：	生年月日：	年	月	日
電話番号：	受診日時：	年	月	日
医療機関名：	医師氏名：			
電話番号：	（※来局時に連絡できる連絡先）			
【服用にあたっての確認事項】				
<input type="checkbox"/> 禁忌（重篤な肝障害、妊婦等）に該当していない。 <input type="checkbox"/> 併用薬の服用を確認した。 （ <input type="checkbox"/> 服用していない または <input type="checkbox"/> 服用しているが問題ない） <input type="checkbox"/> 授乳中か確認した。 （ <input type="checkbox"/> 授乳中ではない または <input type="checkbox"/> 授乳中だったため指導した） <input type="checkbox"/> その他留意すべき事項 [ ]				
薬剤を服用する期限 （性交後 72 時間以内）	:	月	日	時頃まで
来局予定時間	:	月	日	時頃

※ 処方箋とともに送付すること

●薬局からオンライン診療を実施した医療機関への情報提供（手順⑧）

緊急避妊薬に関する情報提供書（薬局薬剤師→医師）

情報提供先

医療機関名： \_\_\_\_\_ 医師名： \_\_\_\_\_ 様

来局者氏名： _____	生年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日
電話番号： _____	
薬局名： _____	薬剤師氏名： _____
電話番号： _____	
<b>【報告事項】</b>	
<input type="checkbox"/> 薬剤師の面前で薬剤を服用した。 (来局（服用）日時： _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分頃)	
<input type="checkbox"/> より確実な避妊法について適切に説明した。	
<input type="checkbox"/> 約3週間後に産婦人科医による直接の対面診療を受診することを説明した。	

●薬局における対応（手順⑤～⑧関連）

緊急避妊薬の調剤における薬剤師の対応手順

- ①処方箋及び情報提供文書の内容を確認する。  
必要に応じて、処方医が研修を修了しているか確認する。
- ①オンライン診療を受診した本人であることを確認する。
- ②来局者の心理状態等に心を寄せて対応する。
- ③プライバシー空間の確保を心がける。  
(場所(個室・パーティションの利用)、声の大きさ・トーンなど)
- ④調剤済みの薬剤と飲料水・紙コップなどを用意する。
- ⑤来局者に副作用などを説明する。
- ⑥来局者が服用したことを確認する。
- ⑦医師に薬局における対応内容について報告する。
- ⑧本手順書をチェックした上で、他の患者情報とともに保存する。

<⑤における説明内容>

- 服用後に嘔吐など副作用が起きた場合の対応を伝える。
- 約3週間後に産婦人科医による直接の対面診療を受診することを説明する。
- 確実な避妊法について説明する。
- 何か質問があるかを聞き、適切に答える。

●薬局において患者に交付する文書（手順⑦）

○服用日時 : \_\_\_\_\_ 年 月 日 時 分頃服用

○薬局名 : \_\_\_\_\_ ○薬剤師名 : \_\_\_\_\_

○薬局の電話番号 : \_\_\_\_\_

○その他留意すべき事項

- ・この薬の服用で、完全に妊娠が回避できるものではありません。
- ・この薬の服用後も、妊娠する可能性がありますので、適切な避妊を行ってください。
- ・この薬を服用した後に、月経のような出血があらわれることがあります。また、不正子宮出血や頭痛、吐き気、倦怠感、眠気などの症状が現れることがあります。症状が続く場合には、医師に相談してください。
- ・この薬の服用後、2時間以内に嘔吐してしまった場合は、医師に相談してください。
- ・この薬を服用した後に、月経周期や出血の状況（日数や量）に一時的な変化が見られることがあります。
- ・この薬の成分は乳汁中に移行しますので、授乳中の方は、服用後少なくとも24時間は授乳しないでください。